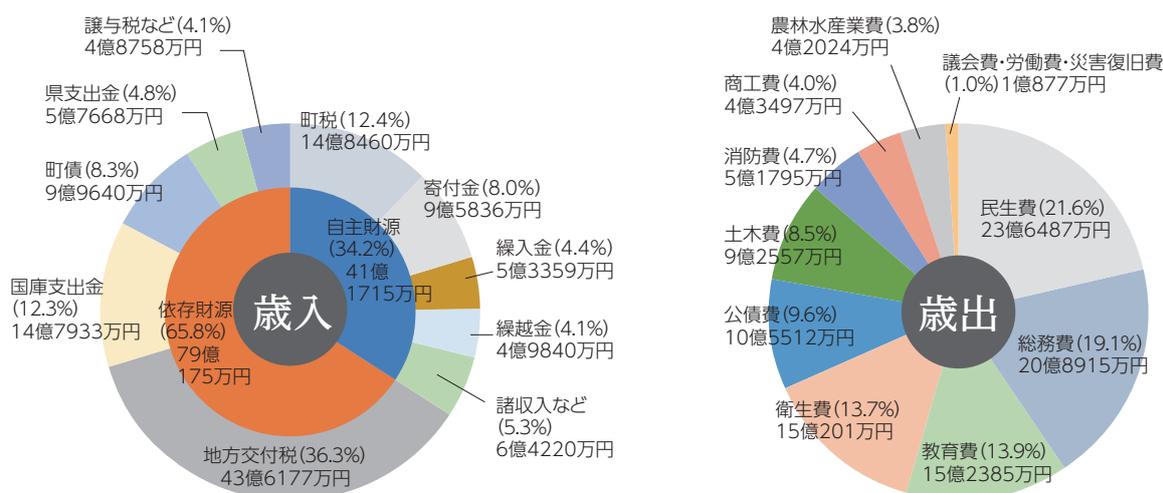


# 令和4年度決算から見る まちの家計簿

## ①令和4年度 普通会計の決算の状況

町の決算状況は、歳入120億1890万円－歳出109億4250万円＝10億7640万円でした。  
ただし、10億7640万円の中には来年度使う予定のお金が7371万円\*あることから、  
実際の収支は、10億7640万円－7371万円＝10億269万円となり、黒字決算となりました。  
※繰越明許費等繰越財源



## ②町民の皆さん一人あたりのお金の使い道

普通会計の決算額から算出すると、町民一人に対し**82.8万円**のサービスを行っています。  
(令和5年1月1日の人口により算出)

<p><b>福祉の充実に</b></p> <p><b>17.9万円</b> (民生費)</p> <p>高齢者・障害者福祉、子育て支援など</p>	<p><b>町政運営や地域振興に</b></p> <p><b>15.8万円</b> (総務費)</p> <p>ふるさと納税の事務や瀬戸内国際芸術祭の開催、自治会への助成など</p>	<p><b>教育・文化の振興に</b></p> <p><b>11.5万円</b> (教育費)</p> <p>小中学校の運営、文化・スポーツの振興など</p>	<p><b>環境・衛生の向上に</b></p> <p><b>11.4万円</b> (衛生費)</p> <p>ごみの収集や処分、予防接種など</p>
<p><b>借金の返済に</b></p> <p><b>8.0万円</b> (公債費)</p> <p>町が借り入れた町債の元金と利子の返済</p>	<p><b>道路や港などの管理や整備に</b></p> <p><b>7.0万円</b> (土木費)</p> <p>道路や港湾、公園、雨水公共下水道の整備や管理など</p>	<p><b>産業の振興に</b></p> <p><b>6.5万円</b> (商工・農林水産業費)</p> <p>漁港の管理、農林水産業の活性化、商工業・観光の振興など</p>	<p><b>消防や救急に</b></p> <p><b>3.9万円</b> (消防費)</p> <p>消防団や消防施設の管理・運営、常備消防への負担金など</p>

※その他議会費など0.8万円

端数処理の関係で合計が合わないところがあります。

### ③令和4年度に実施した主な事業

#### 教育・子育てサービスの充実

池田小学校の長寿命化改修	5億7942万円
新型コロナウイルス感染症や物価高騰関連の子育て世帯支援	1億879万円
給食費の無償化	5150万円
子ども医療費無償化の拡大	1745万円

#### 産業の再興と雇用基盤の強化

竹生漁港の防波堤整備	1億1539万円
主体的に頑張る事業者販路開拓支援事業など 原油価格・物価高騰関連の事業者支援	1億549万円
小豆島ふるさと村の公衆トイレ改修	2231万円
天狗岩遊歩道の整備	1344万円
小豆島ブランドの推進	1323万円
醬ロードパークの整備	880万円
オリーブ公園ギリシャ風車のライトアップ整備	822万円

#### 公共交通の確保と港の再整備

坂手港・草壁港の浮棧橋整備	7115万円
瀬戸内国際芸術祭2022の開催	6372万円
小豆島オリーブバスの運営支援	4548万円

#### 集落活性化と空き家活用

雨水公共下水道の整備	1億5133万円
老朽危険空き家除去支援の拡大	3122万円
新しい移住体験施設の整備	107万円

#### 医療・福祉・防災など

ふるさと納税の推進	9億4579万円
小豆島中央病院の運営支援	2億7569万円
新型コロナウイルスワクチン接種	1億75万円
家庭系ごみの収集拡大	7453万円
地域おこし協力隊の受け入れ	4914万円
地域包括ケアシステムの推進	3705万円

### ④町の決算を家計簿に例えると

町の財政と一般家庭の家計では内容が違っているので単純に比較はできませんが、イメージしやすいように、普通会計の歳入を年収480万円（月収40万円）に置き換えた場合の家計簿を作成しました。

区分	決算上の区分	金額	区分	決算上の区分	金額
給料	町税	5.0万円	食費	人件費	5.9万円
パート収入	使用料、手数料など	1.2万円	医療費・保育料	扶助費	3.6万円
親の援助	地方交付税、国県支出金など	22.8万円	ローンの返済	公債費	3.5万円
貯金の取崩	繰入金	1.8万円	光熱水費・通信費など	物件費、補助費等の一部	5.4万円
前月の残金	繰越金	1.7万円	保険料・自治会費など	補助費等の一部	5.5万円
友人の援助	寄付金	3.2万円	友人の援助に対するお礼	補助費等の一部	0.9万円
雑収入	諸収入	1.0万円	親族への援助	貸付金、補助費等の一部	0.9万円
ローンの借入	町債	3.3万円	車の修理代など	維持補修費	0.2万円
			貯金	積立金	1.7万円
			子どもへの仕送り	繰出金	2.8万円
			車の購入など	普通建設事業費	5.7万円
合計		40.0万円	合計		36.1万円

残額（翌月への繰越）3.9万円

#### 資産等の状況は…

預貯金残高（基金残高） 302.4万円      ローン残高（町債残高） 406.8万円\*

※ローン残高に対し、親の援助（地方交付税による補てん）が284.4万円あるため、実質的なローン残高は122.4万円となり、預貯金残高を下回っています。